

<主な取組み>

1 地域の活力があふれるまちづくり

羽田空港の再拡張・国際化に対応した交流拠点の形成と産業の集積に向けて、国や川崎市と連携して企業などへの働きかけを行うとともに、国際物流機能の強化・高度化に向けた調査・検討を行いました。

また、川崎市では、対日投資の拡充、起業家の創出、ビジネスチャンスの拡大、環境技術を生かした国際貢献をめざすアジア起業家村構想*に基づき、中国、韓国、ベトナムの若く優秀な起業家が創業し、国際的な産業交流が促進されました。

さらに、県内のロボット関連の企業、研究機関などと共同したビジネス展への出展のほか、ロボット・ベンチャーの起業や事業化を支援するワークショップを開催しました。

2 快適で安全な暮らしを支えるまちづくり

広域交通ネットワークを構築するため、川崎縦貫道路（I期）などの基幹的な交通網の整備・検討を進めました。

また、臨海部の東扇島地区では、基幹的広域防災拠点*の整備が国により進められるとともに、片平C地区などでは急傾斜地崩壊防止施設の整備を行いました。

3 環境にやさしいうるおいのあるまちづくり

DMEトラックの公道走行実証試験を開始するとともに、DME小型コージェネレーションシステム*の実証実験設備を川崎区内に設置し、長期耐久試験を行うなど、新エネルギーの普及に向けた取組みを進めました。

<課題と今後の対応方向>

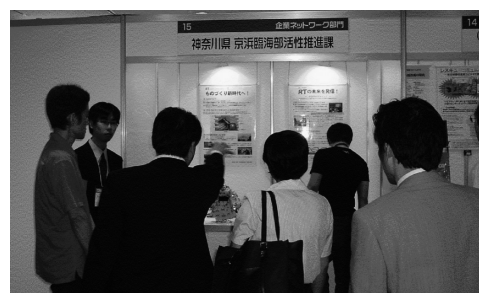
ベンチャー起業支援の活動などを踏まえ、これまで培われてきた技術や人材の集積を生かし、新たな産業の創出・集積や企業活動の活性化に向けた取組みをより一層進めます。

また、快適で安全な暮らしを支えるまちづくりを一層進めていくため、交通網、基幹的広域防災拠点の整備のほか、石油コンビナート対策の強化などを進めていきます。

さらに、新エネルギーの活用促進やみどりの保全と創造を進め、良好な環境と持続型社会の実現に向けた取組みを一層進めていきます。



DME小型コージェネ設備



テクノトランスファーかわさき

地区の数値データ(指標)

○事業所数及び従業者数

(単位：事業所、人)

	1991	1996	2001
事業所数	47,119 (14.6%)	46,789 (14.3%)	43,058 (13.9%)
従業者数	536,531 (15.8%)	536,614 (15.2%)	499,176 (14.8%)

(「事業所・企業統計調査(総務省)」より作成)

○道路の混雑度1.75以上の箇所の割合(平日)

(単位：%)

1994	1997	1999
19.1(13.8)	19.1(10.2)	15.9(6.5)

混雑度とは、道路の混雑の程度を示す指標で、道路の持つ交通容量(交通を通すことができる能力)に対する実際の交通量の比で示されます。混雑度1.75以上の交通状況は、慢性的交通混雑状態と推定されます。

注) 高速自動車国道及び都市高速道路を除く

(「道路交通センサス」より作成)

※〔 〕内は全県における混雑度1.75以上の箇所の割合

○市街地におけるみどりのスペース

(単位：ha)

2002	2003	2004
1,285(2.6%)	1,308(2.6%)	1,312(2.6%)
うち都市公園 466(12.3%)	483(12.4%)	489(12.1%)

(県関係課での調査集計より作成)

※〔 〕内は全県に占める割合